（明治四十一年三月十三日第三種郵便物認可）（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年五月十六日（日曜日）　第百十號　（一）

# 京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

寄書

## 俳句と美學　その關係（五）

恕堂

美人を見ても美に感ずるのは男子として正々堂々たるものであるが、血が廻りて居るとか、頭が油くさいとか言ふやうに見ては美感でもなんでもない、石像を見て石灰質を思つては美を感じたのではない、蓋し美とは感覺を言つたので則ち形で何も質をいふのでない、それで美學といふ一科は獨逸のバウムガルテンが開祖で美學を講義する以上はバウムガルテンを尊敬しなくてはならぬ、バウムガルテンの前には美學といふ學問は無かつたのだ、美學をばギリシヤのエッセチクス則ち感覺することといふ語から來たので感情を種々の方面から說明し且つ分析して始めて哲學の一科となしたのであるから、美學を口にする以上はバウムガルテンを忘てはならぬのである吾人が文學に志す以上は、詩を作るにしても、歌を作るにしても又俳句を作るにしても此等の形式こそ異なれ皆詩である、形式的作法は各々異なるも雖も內容の美は皆同一材料である、から一切の文學美術は美學上正確に判斷を下すことが出來るのである俳句の意義が明瞭に解りて、他人の句の善惡を宜く判斷し得るならば自分の句も宜く判斷し得る又自作の句に付いても駄句か名吟かは宜く判斷し得るのであるから他人に善く言はれやうが惡く言はれやうが少しも齒牙に掛くるに及ばない自己の理想が明白に成つて居るならば俳句でも歌でも新躰詩でも漢詩でも小說でも明白に善美の判斷が出來て各々形式的作法を心得て修練が積みさへすれば漸次成巧の光明に達する事が出來るのである然れば同一範圍に於いて書畫彫刻等に向つても美學的理想を以て判斷が出來るのであるから文學美術に志す以上は美學を研究して置かなくてはならぬ、美學上から俳句を美なりと賞めて選ぶには想と調とに注意しなくてはならぬ然るに現今の作者の俳句を讀で見ると調に少しも注意して居らぬ、單に作るといふのみにて若しや宜い句が出來やせぬかといふ考にて僥倖を願つて居る適一定の句調で作つて居る人も見ねるが此の如き人の句でさへ邪道に踏み迷ふて居るものが多い、再言すれば月譜でもなければ新調でも無い、さうかと言て鬼貫を學で居ても無く又梅室を習つたりでもない一種蛞蝓の紆つて居るやうな調で吟じて居る人々が多い、此れでも宜くホトヽギス雜誌に撰出されて居るが名句か駄句かは一閱で分る、其れが明白に解らぬで僥倖を願つて居る作者はど氣のごくなものは無い、再言すればホトヽギス雜誌の奴隷と成つてしまつたのである、否ホトヽギス雜誌に限らず新聞へでも何でも宜い、美學的判斷の資格のない者に選出されたからとて何も嬉しいことはない、故に專心で俳人たらんとするならば先づ第一に美學を研究して置くが宜い、第二に古人の句を研究して置くが宜い、此の二大輪を得なくては大車は動かぬ、此の如く眞面目に研究してから、子規の句でも鳴雪翁の句でも乃至は虛子碧梧桐等の句を讀で見れば自ら日月を觀るが如くに明白に且つ正確なる判斷が出來て來るのである、吾人は運坐會へ出て句を撰ふ時は大いに注意してば選ふが歸宅して再見して見ると半分は駄句で捨てゝしまふ無論他の殘物は如何に多くの人が撰でも取らぬのだ、其の理由はと言へば俳句の內容が宜くても又面白く感じても句調の惡い奴を殘して來たのであるから人が撰だからとて余は取らぬのである、それで句調の惡い同志がれ互に撰ひ合いて居れば運坐會か面白く行くのだから何も罪ではない

## 文苑

●五錢貸して呉れ　百萱

僕は大膽に白狀する、今を去る三年前女を二人殺した、イヤサ驚き給ふな、敢て手を下して殺したのではない、ツマリ精神的に殺害したのだから……尤も一人の女はツンレが原因となつて先月死亡したが他の一人の女は自暴自棄して終に宿場女郎と成り下つた、何うだ凄いだらう而して君が現今の煩悶は勿論女の爲めだ、之を解決するには僕を差し置いて他に人なし、確に僕が引き受けてやる……イヤもう澤山大分醉が回つたドラ歸らうか序でに君煙草錢を五錢貸して呉れ

●無遠慮な人　光代

鈴木さんは實際無遠慮な方ですネ、私今日はホト／＼呆れましたワ、ナゼツて貴郎……マア斯うなのですよ、貴郎の留守に近藤さんが參りましてね「奧樣濟まないが晝御飯を……」と申すものですから早速仕度をして御飯を出しますとソコへ鈴木さんが參つたのですよスルト突然近藤さんの側に坐つた迄は好かつたのですが……呆れるぢやありませんか近藤さんが喰べ殘した芋の煮たのをば「大分旨さうだナ」といひながら手つかみでムシャ／＼と食べるのです、私本統に呆れましたワ



## 佐倉宗吾　（八十一）

眞龍齋貞水講演

四郎兵衛は全然ねごかされて、青白く成つて源兵衛に伴れられ、二階へ登つて來る　源「エー井筒屋五郎兵衛さん、今多賀さんが御詫に出ました　四「先刻は誠に失禮を致しまして、此御座敷へ踏込みましてございます、右樣な事を致しました、希ぞ偏に御勘辨の程を願ひ度ございます　五「マアお前さんが、郡方の見廻りであつて見れば、そりや成程此度堀田樣ぢや、江戸へ出て御駕籠訴だの御門訴だのと、面倒な噂が立つてゐるから、六人の名主が來たら、ふん縛つて褒美の金にでも有り付かうと云ふのだらうが、是からは氣を注けなせゑ、俺上野の宮樣へ御出入をして居るんだ、一つ睨みや、お前達の首を吹飛ばすくれゑ何でもねゑが、マアお前さんが、我慢へ氣が注きなすつて、詫をすると云ふんなら、俺勘辨しねゑでもねゑが、若い者が承知しねゑから、希かマア、若い者へ謝つてくんなせゑ　四「それぢや皆樣も、御分樣御國樣御勘辨を願ひます、ナニ、御勘辨だつて手前、人に詫言をするに野面で詫言をする量見か、詫をするならするやうに、ちやんと酒に肴でも持つて來い　四「エーそれは仰つしやらんでも用意いたしました　三「仰つしやらねゑでもつて、俺ア手前に飲ましてくれと云ふんぢやねゑが、たゝ飲ましてくれるやうな大きな口を利くな、飲みてゑと思や、此方は此方で幾らでも飲むんだ、けれども折角持つて來りや飲つてやるんだ、箆棒の江戸ッ子では、俺ッ達の口に合ふやうな物を持つて來い　四「ハイ　三「マア宜い、勘辨してやつたら踏殺しや仕ねゑ……オウ源兵衛さん、此野郎が御馳走すると云ふんだ、肴の有りつたけを持つて來な、島屋源兵衛、豫て料理番に內通してあるから、酒はドン／＼持つて來る、肴は腐つた物でも何でも構はず皿へ載けて持て來る、廣い座敷へ肴を一杯持つて來て並べる、驚いたのは四郎兵衛こんなに持て來つて食やしないのにと心配してゐる　權「酒をドン／＼持て來い面倒くせゑ樽の鏡を拔いて來い、俺ッ達は一樽や二樽は、直ぐに飲んで仕舞うんだ」どうもさんざつぱら、飲み食ひされた、四郎兵衛の量見ぢや一歩か二歩で事を濟ませやうと云ふ考へであつたが、勘定を見ると、六兩二朱二步四百文とある、現今の六圓五十錢や七圓ではございませぬ此頃はひの六兩二步と來ると大層なものであります　四「オイ島屋、恐ろしい勘定だな　源「恐ろしい勘定だと仰つしやるが、仕方がございませぬ、ドン／＼持つて來いと仰つしやるんです、彼の位の事を爲なくつちや成りませぬ　四「恐ろしい食ひもしない物を　源「食つても食はなくつても、彼だけ出さなけりや承知しないんでございます希ぞ御勘定を願ひます、　四「勘定だつて、今持合せがない　源「持合せがないつて、貴下も郡方廻村の御役人でございます、宜しうございます、御貸し申します其代り證文を一本願ひます、私もイザと云時は御城中の役人まで出まして此りや間違なく頂かなければなりませぬ　四「うりや然うだけれども、餘り勘定が高い　源「貴下は其樣な事を仰しやるが六兩二步や七兩で生命が助かつたんでございます、此樣な腕い物はございませぬ、宜しうございます、御貸し申します、證文を一つ御書き下さい　四「まさか私が證文も書けないで　源「御書きに成らなければ、明日までに御拂ひ下さい　四「それぢやマア待つてくれ」是から人を遣りまして、四郎兵衛自家から金を取寄せて勘定を拂ひ這々の態で歸つて往きました、後で源兵衛　源「誠に有難うございました、もう御陰樣で、腐つた物まで代を取つてやりました　五「マア宜かつた、斯う云ふ事がねゑといけねゑ、お前土足で踏込んだり何かしやがつて、本統に酷い野郎だ、だから忽ち彼の通り罰を受けたんだ　源「有難うございました　三「如何だ島屋、俺ッ達のポン／＼云つたんで、御蔭樣で肴が皆な賣けて宜かつたらう　源「へ、御蔭樣で有難うございました　五「マア何しろ肴を下げてくれ、嗅くて耐らねゑ　源「エ、それは腐つた鯛でございます　五「ひどい物を持つて來やがる。



京城新報

# 困難なる後任者

伊藤統監にして辭任すれば

南山の綠泉亭は青葉茂りて綠陰漸く深からんとす、然れども統監旗の翻らざるや久しく綠泉亭若し靈あらば其主の家を外なる放埓を喞ちやせむ。

春畝老公の任地を空ふする事の何ぞ多き、何人と雖も公が斯くても誠心誠意に保護政治を遂行するの意志ありやを疑はざらんや公が韓京を去る毎に辭任說の傳はるも決して謂なしと云ふ可らず、放縱度を過ぐるの行爲は職責上より元老たるの故を以て寬過すべき事にあらず。

統監辭任說の傳はる幾春秋、今や漸くにして其實現を見るに近づきたるを覺ゆ、果して近者傳ふる如く其發表近きにありとすれば其后任者は誰なるべき乎、世說の如く曾禰副統監の陞任を見るべきか、將た他に最適任者を舉げて保護政治の刷新を敢行すべきか、余輩は其何れなるかを知らずと雖も、根本の方針を革むるに非ざれば保護政治の發展は容易に期し得べからず、現在伊藤公の採れる方針を其儘繼續するに於ては何人が統監たるも決して良成績を舉け得可らず伊藤公たるが故に統監政治の失敗を見たるに非ず、伊藤公が根本的方針を誤りたるが爲也、然るに伊藤公辭任するも對韓政策の大方針は既定の伊藤式に據るとの說あり、而も事實なるが如しと、果して然らば如何なる人物を以てするも、從來失敗の跡を繰返すに過ぎず、到底保護政治の發展は望む可らざる也。

試に統監政治の現狀を視よ、地方の暴徒は何故に今尙猖獗を極めつゝあるか、帝國の國是たる移民政策は何故に發現を見ざるか、地方行政は何故に刷新の實蹟を舉げざるか、失敗せる捨名取實なる次官制度を何故に改めざるか、要するに是皆根本の大方針を誤れるが爲也、伊藤公の政策は餘りに外部にのみ意を用ひ過ぎて眞の根幹たる日韓兩國の關係を鮮明にせざるが爲也、所謂宗主國と保護國との關係を明瞭にせざるより總ての錯誤は生じ來る也、是が爲に韓國本位てふ奇妙なる政策となり帝國の對韓經營と齟齬するが如き現象を見ることなきに非ず、其懷柔政策に專ら偏して却て反感を買ふが如きも亦之に因す、斯る方針政策を以て將來繼續せらるゝならば、如何なる人物を以て統監に任ずるも良成績を舉ることは頗る困難なる事なりとす。

若し夫れ之に反して對韓政策の方針を根底より改善し、兩國の關係を鮮明にし帝國の使命を率直に敢行するに於ては何人が統監たるも優に實蹟を舉げ得べし、要は統監たるべき人物には膽識の德と透徹せる識見と果斷の手腕なかる可らず、勳爵位階の如きは敢て問ふを要せざる也。

惟ふに伊藤公の後を承くべき後任者は種々なる困難あらん、況や背後より幾分の制肘を受るが如き事あらば尙更也、余輩は帝國政府が適材を舉げて寬大に自由手腕を揮はしめん事を希望するもの也。

## 東京電報

### ▲混成旅團渡韓

任韓第十二旅團と交代する爲め混成一旅團を以て臨時韓國派遣隊を編成する事となり同司令官には步兵第九旅團長渡邊水哉氏同聯隊長には步兵第六十八聯隊長福原鐵太郎氏及第三十六聯隊長三輪光義の二氏任命されたり其他副官も同時に任命せらる

### ▲御渡韓紀念章下賜

東宮殿下御渡韓記念章は十七八日頃御下賜の筈なるが拜授者は當時警衛の任に當れる陸海軍武官統監府員最も多數にて韓國官吏は極めて少數なり

### ▲山桂兩氏會見

桂首相は山縣公と會見し山縣公は參內天皇陛下に謁見せり

### ▲三元老の會見

伊藤統監は山縣公及井上侯と會見したり

### ▲愈々辭任か

別項山縣桂侯の會見は伊藤統監の辭任問題の進捗として一般に確認せらる（以上十四日夜發）

### ▲派遣隊の渡韓

臨時韓國派遣隊司令部は本日より第一師團內に設置されたるが二十二三日頃渡韓の筈にて韓國にて聯隊を編制すべし

### ▲新聞記者來韓

米國經濟學者にして新聞記者たるヘンリージョージ氏は本月末京城に來り滿洲に向ふべし（以上十五日發）

## 外報一束

●露清條約調印　哈爾賓其他滿洲に關する露清交涉問題に就ては十一日午後三時露國公使コロストウヰッツ氏と署理外務部尙書世續、外務部尙書會辨大臣梁敦彥、同左侍郎聯芳との間に十八個條の條約を取極め調印濟となれりといふ

●獨人被害事件　雲南にれける獨逸人彼害事件は全く土匪の爲めに殺害せられたるものにて獨逸は兇徒處罰、地方官處罰及び扶助料贈與方法等を提議せり

●賓州民の暴動　淸國賓州廳居民約二千名は地方官の地權稅徵收に反對して暴動を企て目下吉林より出兵鎭壓中なりと

●南阿聯邦會議　ブレームフォンタイン市の南阿聯邦會議は略々協定を告げ南阿聯邦は今既に成立の見込確なりと

●刺客捕縛さる　去八月百姓体の者銃器を持し軍機大臣張之洞の邸宅附近を徘徊し張大臣の歸邸を窺ひ之を暗殺せんとせしも直に捕縛せられたりといふ

●職制制定の急務

府尹郡守の關係は前者は利益の爲めに却て……面長は非常に嫌惡し居れる有樣にて之れが……地位及其の職務權限を定むるは地方自治の……

## 雜報

●土帝の即位式　土耳其新帝モハメット第五世の帶劍式（即位式）は君士坦丁堡に於て無事に終了せり

●副統監の參內　曾禰副統監には昨十五日午前十時昌德宮に參內韓皇に謁見し上御暇乞ひを申述べ夫れより德壽宮に伺候太皇帝に御暇乞をなし歸路大久保軍司令官を訪ひたりと

●副統監の歸朝　曾禰副統監は今十六日午前九時南大門發歸朝の途に就く由

●國有地小作人組合　韓國政府は國有地に於ける小作人保護獎勵の目的を以て小作人組合なるものを組織し農業の發達と組合員の和合とを計る筈なるが其內容は種子、肥料、農具の共同購買を爲し之れを各組合員に分配又は貸付くること、生產物の委託販賣を爲すこと、組合員の疾病、死亡又は水火災のありたる時は互に救濟する事等にして度支部稅務課にて目下草案の起草中なりと云ふ

京城漫畫（其三）
かくの如くんば……
旭町三丁目　エス、ケー生

●二規則案議了　地方費會計規則及地方財產管理規則の兩案は過日の法令審查會に於て議了し目下閣議に提出中の由なれば不日同法の發布を見るべしと

●副統監の告別挨拶　曾禰副統監は昨日午前各部大臣を官邸に招き歸朝につき告別の挨拶を爲したりといふ

●支配人會議終了期　先日來引續き開會中なる農工銀行支配人會議は兩三日の內終了の筈なりと

●築港期成會ご調查　仁川築港期成會にては築港完成後に見るべき利益及び現在の儘にて修築を加へざれば如何程の損失を見るやに就いて硏究中なるが右調查は近々完成すべしと云ふ

●白銅貨通用延期　舊白銅貨の公納金としての通用期間は今月を以て滿了する譯なるが財務當局者には尙百萬圓以上の殘額あるべく此が一掃を計る爲め通用期間を更に數ケ月間延期すべしと

●韓人の浦鹽移住　昨年度に於ける一般農作不況の爲め北韓居住の韓民は非常の困窮に陷り文川、德源、永興、安邊の各郡の小農民は殊に昨年末より本年度に掛け窮乏甚だしく是れが爲め四月の播種期に於て元山理事廳が取扱ひたる浦潮移住の韓人旅行免狀は二百八十七件の多數に上りたりと云ふ

●地方官吏任命　法令審查會に於て起案したる地方吏員任命規程案は過日の參與官會議に於て參與官の意見と多少相違せる處ありたるを以て同案の改正を見るべきことは既報の如くなるが愈々同案を撤廢して別に地方費所屬官吏任命規程なるものを制定すべき由にて其の內容は嚴きに報道したる如く日本の技師技手任命に關する規則の如きものなりと云ふ

●韓人の漁業困難　朝鮮海水產組合江原道竹邊出張所よりの報告なりといふを聞くに韓人等の使用する魚網は總て古網なるを以て使用に堪ゑず破損し易き爲め折角網に掛りたる魚も脫出し偶々網に入りたるものも曳揚間際となりて全部逃げ去り徒勞に終る譯なるが思ふに現下の狀態にては韓人側の漁業は絕望と云ふべく魚網の新調急務なれど韓人に資本なき爲め如何ともするを得ずといふ

●李觀察使の謝狀　赤十字社咸鏡南道咸興委員部に於ては去月同部の發會式及活動寫眞會を開催したることは既報の如くなるが同委員長李觀察使は先般曾禰副統監出迎の爲め元山出張の際親しく副統監に報告する所あり尙該擧が管內出韓數千の有志者に對し無限の快感と信念とを與へ將來社業其他の施設發展上少からざる稗益を與へたる旨本部宛懇篤なる謝意を表し來れりと

●魚市場規則制定　農商工部當局者の云ふ所に依れば漁業者は漁業法の施行に依りて保護及び獎勵の途立ちたりと雖も之れより獲たる魚類の販賣に就ては從來規則として見るべきもの無きを以て水產局に於ては今回魚市場業規則を制定するの計畫あり目下草案を起草中なるが其の內容は魚市場の名稱及所在地、市場の開設一年間販賣すべき水產物の取扱高、手數料の率、支拂の方法、販賣を拒み得ざること此規則に違反したる者は罰金に處せらるゝこと等にて遠からざる內成案として頒布せらるゝに至るべしと云ふ

●大邱の新稅反對　十四日午後七時大邱元町勸商場樓上に於て新稅施行反對運動を爲す爲市民大會を開きたる譯なり

●昨日の園遊會　既報の如く曾禰副統監の主催に係る園遊會は昨日午後三時より統監邸後丘に於て催されたり來賓は內外文武官民間の有志者夫人無慮千七百名先づ來賓には入口正門內にて一々徽章と順序書とを與へ副統監には官邸山上に立ち丁寧に來賓を迎ねたるが軈て定刻に至るや模擬店を開始され次で四時四十五分となるや會場に於て立食、饗應開かれたるが副統監には席上一場の辭を述べ之に對して來賓代表者の答辭あり後互に獻酬を重ね歡讌溢るゝ許りなりき尙は當日の餘興としては芝居あり軍樂隊の奏樂あり而して統監官邸附近及好道園前軍司令部等には幔幕を引き廻はし國旗旭燈を吊して美觀を添へたるが先づ近來に稀なる盛會なりき斯くて散會せしは夕刻なりし

漫畫募集

▲應募心得▼

一、畫題は時事問題に關する諷刺

二、畫面は四寸五分と二寸二分五厘
但竪橫自由の事

三、當選者へは本紙一個月分を進呈す

四十二年五月

京城新報社

●民團歲出入豫算（續）（四十二年度各居留民團）

▲平壤　一般會計歲入經常部四萬三百二十圓臨時部五圓外五萬三百二十五圓歲出經常部三万六千九百八圓臨時部三万四百十七圓計四万三百二十五圓

▲元山　一般會計歲入經常部五万三千六百二十一圓臨時部三千三百二十八圓計五萬六千九百四十九圓歲出經常部三萬五千七十圓臨時部二萬千八百七十九圓計五万六千九百四十九圓特別會計歲出二萬五千三百七十八圓

▲大邱　一般會計歲入經常部三萬五千三百三十六圓臨時部九千百五十九圓計三萬四千四百九十五圓歲出經常部二萬六十五圓臨時部一萬四千四百三十圓計三萬四千四百九十五圓

▲龍山　一般會計歲入經常部五萬五千九百九十四圓臨時部三萬四千圓計八万九千九百九十四圓歲出經常部五萬三千百八十圓臨時部三萬六千八百十四圓計八萬九千九百九十四圓

▲新義州　一般會計歲入經常部一萬二千八百七十圓臨時部千百十圓計二萬三千九百八十圓歲出經常部二萬千四百四十六圓臨時部二千五百三十四圓計二萬三千九百八十圓

計歲入經常部七十八萬七千九百七十三圓臨時部十七萬千百九十五圓歲出經常部六十二萬五千百三十四圓臨時部六十四萬二千三十四圓特別會計歲出九十九萬六千五百七十八圓なり

●請願委員の撰定　民團議員は十三日新稅反對協議會の結果十四日の居留民大會を俟ち民團側より三名の請願委員を出し商業會議所側より一名乃至二名の委員を出すべく內定せり

●安東縣行の增加　安奉線改修者も近づける事とて昨今安東縣に入り込む者次第に多く一日平均二十名に上ると云ふ然して多くは日本內地よりの渡來者なりと

●幼稚園へ寄附　內部主事相馬宗房氏は長男の死去葬儀費を節し京城民團幼稚園費に金二十圓を寄附せりと

●西島中將の輕快　西島第六師團長は昨今の容体は體溫平常に復し經過良好なりと

●出入船舶と乘降者　仁川港一昨日の入港船は獨逸汽船マリアリクマース號及び木浦丸の二隻にして出港船は芝罘に向ひたる矢崎丸と木浦丸の二隻なり而して其の上陸者は男九十五人女二十一人乘船者は男八十六人女四人なりと

●馬領事の釜山行　京城淸國馬領事は十四日午前九時南大門發列車にて釜山に赴く

●穎原會頭の歸仁　仁川日本人商業會議所會頭穎原修一郞氏は母堂死去の爲め鄕里に歸省中なりしが一昨夜歸仁せり

●鄭氏の觀光談　鄭雲復氏の觀光談なりとして報する所を聞くに日本官民の熱誠なる歡迎には一同感激せり而して交通機關の完備、實業の繁盛は是又一同の驚歎したる所にして日本國の富强なる實に故ありと思惟せり然るに茲に滑稽與ふ笑ふべきは一行中の本官民の優待を却つて日本が爲めにせんと下揣へなりと邪推したるものもあり されど七名の元老が日本 天皇陛下に謁見仰せ付けられ有難き御諚を賜はりたるには皆々感泣せる有樣なり尙今回の觀光は一同に對して深き印象を與へたり云々

本日の集會

▲メソヂスト教會　旭町二丁目の同教會にては午前九時半より聖書硏究同十時半より木原牧師の「信徒の生涯」午後八時より同牧師の感話並に傳道說教あり

▲京城基督教會　午前九時より日曜學校……の「世を負へる小羊」……「靈生の行路」と題……

▲日本基督教會　旭町四丁目の同教會は午前八時より日曜……同牧師の「聖徒ペテロ」……「求道の精神」と題……

公人私人

▲橫田信郞（時事新報記者）……の後任……同氏
▲依田銀三（三井……）
京東京へ
▲唐家偵（吉林銅鐵局……）
▲有川貞彥（同局員）同上
▲上林敬次郞（度支部書記官）
中同日開城へ

一は釜山水道に對する金二百五十圓也

大々的祝典の擧行を盛にせんと主張するも……せるが總額十……の如くに見做す……

近事片々

▲歸朝の命に接せる曾禰副統監……
▲上す何等の急用か……
▲統監に陞任す……
▲說あり二說共に或……
▲曾禰子が統監……
▲或は今回の歸……
▲伊公去り曾禰……
▲統監政治の中……
▲正副統監共不……
▲完用君勢力維……
▲統監交迭と共……
▲宋氏歸來して……
▲先づ夫迄は宗……
▲近頃獨淸協約……
▲獨逸の淸國に……
▲日英同盟の效……
▲高商問題は終……
▲退學に際して……
▲彼は余りに……
▲日糖事件の……
▲昔者ワルポ……
▲兆民門下の……
▲靈端[illegible]……

●職制制定の急務

從來地方に於ける面長の地位は財務署、府尹及郡守、警官憲兵、守備隊の五關係よりして良面長を得る能はざるの傾向ありと云へるが今其理由なるものを聞くに財務署及府尹郡守の關係は前者は利益の爲めに却て之れが關係あるを喜び後者は階級上止むを得ざるものとし唯り警官にして憲兵及守備隊の關係に至りては殆んど雇人關係の如く絶對的に命令を以て使役さるを以て面長は非常に嫌焉し居れる有樣にて之れが爲めに德望あり且つ財産及學問ある者は面長となるを好まず其他の收入の少なきに因るものなりとされば此際面長職制なるものを制定し以て法律上面長の地位及其の職務權限を定むるは地方自活の改善を計る上に於て最大の急務なりと云ふ

●釜山幼稚園補助　の件は十三日理事官より認可されたる由なるが一は幼稚園に對する月額補助金三十圓一は釜山水産組合に對する金二百五十圓也

●元山の開港祝典　元山にては來る廿四日開港三十年に相當するより民團當局は祝典準備として種々計畫中なりと倂し居住有志家間に於ては不景氣挽回の一策として大々的祝典の擧行を盛にせんと主張するも或る一部の士は質素にせんといひ居れり

●竹邊附近の海參　江原道竹邊は四月より海鼠採捕漁季に入り潜水器業者續々來集せるが總額十七萬にして仕上高は六千百斤なりと此海參は釜山に通附し同地より長崎を經て淸國に輸出するものなり

●永樂町の人殺し

▲車賃の値下協議▲新町高島屋で豪遊▲車夫同志の格鬪▲無關係者を刺す

一昨夜九時四十分當地永樂町三丁目早瀬組支店に於て一時の激怒に乘じ何等怨恨なき者を一刃の下に刺し殺したる椿事ありたり今其狀況を左に摘錄せん

▲車賃値下協議　市内數多き人力車組合中早瀬組のみは大に勉强して車賃を安くせしに他は之を拒み右早瀬組に申込み一致して車賃を定めんとし去月三十日其集會を開きたり合せし者は本町三丁目伊藤組本店主[illegible]、小林六藏大和町三丁目同支店[illegible]本町六丁目筑池組内西村彌次郎本町四丁目前山組松尾菊之助日別府組河内恕平、吉岡清吉、篠田千松、山田平藏、大和町一丁目大和組下銀藏及び永樂町三丁目早瀬組支店竹田作太郎、浮松增藏の十三名にして協議一致の協議整ひたる後彼等一同は已れが分際をも辨へず一同新町遊廓へ繰り込み高島屋へと登樓したり

▲高島屋の豪遊　一行十三人は高島屋へ登樓し各一名宛の遊女を總揚げ其夜の午前三時頃まで豪飲なし翌早朝何れも歸宅したるが此夜の勘定高は六十餘圓に上りたるも誰一人の持合せ無ければ一行の中なる早瀬組の竹田作太郎が幹事に交渉して歸り次第調金する事となして引取りたり

▲高島屋の告訴　然るに彼等は歸宅後誰一人として仕拂ひ爲さんとする者も無く高島屋よりは頻りに督促するも言を左右に託して仕拂はざるのみか却つて暴言を吐くにぞ同樓に於ては遂に去る十一日南部署へ向け無錢遊興の告訴を提起したり

▲竹内の無責任　圖太き彼等も告訴を受けては頗る狼狽し善後策の講究中遂に各組總代等の知る處となり前山組の主人仲裁に入り高島屋の告訴の取下を爲さしめ拂ふこととし一先づ告訴を取下げ一同前山組に集合し早瀬組のやゝ醒がてなるに一寸一杯引つ掛けんと

憤慨して同組に押寄するに至れり

▲突嗟の兇行　永樂町三丁目の早瀬組支店に押掛けたる同勢は前記十一名にして七内八名は表に待ち受け伊藤組の時吉及び別府組の吉岡清吉（七十）外一名は竹内の居間なる二階に押し上がりたるに折柄竹内は兩三名と飲酒中なりしが二言三言口論の結果時吉は有合ふビールを以て竹内外一名の頭部を撲りて負傷せしめ殺氣滿々として引揚げんとせしに當夜の當番として帳場に居たる同組の車夫大阪市東區玉造仁江門町耶蘇教學校裏手、當時永樂町二丁目百二十七番戸の一道旗市造（三十）と云へるが此の狼籍を見て歸路を止めんとせしかば三人の中なる吉岡清吉は匿し持ちたる短刀拔くも見せずナニ生意氣など行きなり市造の脇腹より脊髓に掛けて柄も徹れと突き立てたれば不意に刺されし市造はアッと云ふ間も無く噓空を摑んで即死を遂げしぞ憐れなり

▲關係者の逮捕　此兇報に接したる南部警察署にては桐原署長自ら署員を指揮して非常線を張り當夜午前二時過迄に關係者一同即ち前記十一名を逮捕引致し一方被害者の檢視の上早瀬組に引渡したるが前記十一名の内加害者たる大坂市中河内郡東六郷村大字鹿納百十八番戸當時本町一丁目別府組車夫吉岡清吉（七十）は逐一自白に及びたれば傷害罪として昨日檢事局に送致され又時吉外一名が竹田等を負傷せしめたる事件も目下取調中なり

●仁川の指切り騷ぎ

▲原因は末公の甚助から

一昨十四日午後十一時頃の事なりき、仁川日本公園下料理店榮月に於いて身の潔白を證據立てん爲め男の意氣地我れと我が手に己れが右の小指を打ち切ちたる勇ましい樣で實は野暮い出來事あり其の事の起りを尋ねれば仁川新町二丁目に居住せる水商俵長次郎と云へるが微醉機嫌の散歩歸り春未だ寒き夜の風に吹かれた爲か酒の氣のやゝ醒がてなるに一寸一杯引つ掛けんと

打ち興じ居たりしに此れも同じく仁川京町一丁目なる魚市場の二階に寄宿せる末公（三四）と云ふ魚商仲間でも餘り評判の善からぬ男だがツイ此の頃魚屋を始めた計りの敷島門前菊の屋事福家と云ふを誘ひ出して鴨にする氣で同亭に登樓し暫時の程は何事もなく酒汲み交はし居たるが不圖末公は隣り座敷の話し聲を聞き付けソッと立ち上りて襖の隙より覗き見たるに酌せる女は豫ねて自分の買ひ馴染のれ何、男は以前無盡講の行違ひから口論したることのある前記の俵、喧夫れ丈けならまだしものこと其の男女が睦ましさうに打つたり叩かれたりのねられたり抱き付いたり爲てる光景に甚助根性ムラ〳〵と頭を擡げ眞面目の時さへ分別なき男の事

とて醉ふては前後の辨へもなく突然襖を蹴放し樣俵の坐敷に躍り入り他愛もなく戯れ居たる男女の間に割つて入り俵に對して馬鹿呼はり聞くに堪ねぬ惡口の數々を吐き散らすのみか足を揚げて蹴んとまで爲したるにぞ相手が惡いと知りつゝも默つて居られぬのみならず兼ねて自分が日頃餘り快よからざる福家さへ居ることとて必定卑怯にも福家が此の末公を煽動して自分に恥を搔かせたに相違なし夫れにしても此亭で愚圖々々云ふ日になれば何んにも知らぬ此の亭に迷惑を掛ける理由なりと出來ぬ我慢をして立ち上り樣福家に向ひ覺えて居ろと火の如く燃ゆる眼に二六八の光りて禮は明日屹度するよと云ひ放つて立ち去りたるが一方福家は先刻から俵の出來事は啻だ俵と末公との出入とのみ思ひ自分には何等關係なしと思ひ居たるに俵

を切落し紙に包んで然うでない證據は此れと俵に送りたるより俵も然うであつたかと得心したれば一時は血の雨降らんかと怪しまれたる出入は此所に目出度シャン〳〵

福家と云へば末公を煽動て俵に恥をかゝせた樣に思つて居るだらう是れと相違なし相手が小僧の末公位ならば何んでも無いけれど怒つたら何んな事をも爲し兼ねまじき俵の氣象夫れに恐れて降參ならねど男と男の意引に人を頼んで行らせたと思はれんは殘念至極と思ひ附いたる福家は同亭の臺所に至り出刃庖丁を取りて早くアナヤと思ふ間もあらせず左の小指

●非禮なる秋田の妾

▲副統監の園遊會に於ける副統監の催しに係る園遊會は昨日弘道園に於て開かれたるが當日は副統監公式の催しとて内外の紳士淑女を網羅したる中に仁川秋田商會主の妾として紛れ込みし奥樣然として方は如何にして紛れ込みしか奥樣然として匿れなきれかねの一隅に濟まし居たるを誰れともなく發見して一時に騷ぎ出したるにぞ譯を知らざる西洋人迄も聞き附け大に顰蹙したるが何人の指圖なるか斯かる忌わしき女性を淸き會合の席に引込みたるは即ち副統監初め内外の紳士淑女を侮辱したるものにて頗る物議を起し居れるとの噂なるが何れ眞僞は精探の上報導する處あるべし

●元警視の收賄罪判決

▲大邱警察部附警視元慶尙北道警察部附警視朴準孝の收賄罪事件は大邱地方裁判所に於て審理中の所此程判決の言渡しありしが流石に朝鮮だけに贈賄品が烟草や人參と云ふも面白し

|  |  |  |  |
|---|---|---|---|
| 禁錮八ケ月 | 收賄者 | 朴 | 準孝 |
| 同三ケ月 | 贈賄者 | 李 | 俊 |
| 同二ケ月 | 同上 | 金 | 基政 |

犯罪の事實左の如し

隆熙二年五月十一日高靈郡津村面笛山洞居克東外數名が禁葬殺人被告事件に因り拘禁せらるゝや被告李俊は金克東の子金煥斗が父金克東の爲めに辯護士に依賴し辯護の方法に憂慮奔走せるを見て辯護士に依賴するも其効尠きにより寧ろ當局官吏に贈賄し以て釋放を得るに若ずと勸誘し一面被告金基政と協議し當時大邱警察署警視なりし被告朴準孝に依賴せしめたる處被告朴準孝は之を承諾したるを以て同年六月初旬金基政をして唐呂二反人參二斤刻烟草二斤を朴準孝居住の官舍に於て贈賄せしめ其後同年六月三日大邱南門外金熙瑞方に於て金煥斗より金五百圓を受取り同日大邱北門内妓生錦玉方に於て内百七十圓を金基政に交附し被告金基政は其翌朝内百五十圓を携帶し居住の官舍に至り同人に贈賄したるものなり而して内二十圓は自ら收得したるものなり被告朴準孝は大邱警察署警視在職中右記載の通り被告金基政を介して金克東の依賴を受け唐呂人參烟草九百五十圓を收得したる者也

●市井の出來事

龍山梨泰院姜名仲方下宿八夫鄭東云（二二）は窃盜嫌疑者として昨日南部署に引致さる▲住所不明韓縞俊（一六）呉楠泳（一五）は楠泳が金六十錢を所持し居たるを戯れに奪ひ取らんとして脇腹を蹴りたる爲め支那領事館前道路に卒倒したるを警官が認めて南部署に引致し嚴諭して放還す

●敷島遊廓の檢梅

仁川敷島遊廓の一昨日檢黴は總員九十六名中浮検したるもの深川樓、敷島支店の菊江、日進樓の小蔦は洗滌を要せしのみにて他には別條なく又入院中の日進樓の次郎は一昨日退院し高砂樓の鈴子及び二見の兩名は病氣の爲め昨日よ

八十四名にして洗滌を要せしは深川樓三名ありたるのみにて他には別條なく又入院中の日進樓の次郎は一昨日退院し高砂樓の鈴子及び二見の兩名は病氣の爲め昨日よ

●自宅休業す

仁川水道局雇人奥村次六と云ふは使役せる十六七歳の韓童を毆つて大目玉

●韓童を毆つて大目玉　仁川水道局雇人奥村次六と云ふは使役せる十六七歳の韓人を同局附近にて無慈悲にも毆打し居たれば巡行中の警官は見兼ねて其の理由を尋ねたる所仕事が出來ぬからとて毆り居るにぞ警官は其の蠻的なる行爲を嚴禁し將來を戒しめて放還す

●仁川の天然痘患者　仁川花町二丁目香川さよの私生兒すゑの（五）は一昨日午後九時天然痘に罹り避病院に收容せらる

●秋山商店の夏物　本町郵便局前秋山商店にては今回太物、洋反物、蚊帳、蒲團等新流行の夏物新荷著大勉強にて賣出し居り



揑造中傷無用のこと　小便も亦御斷り申候

▲太平町一丁目の魚屋は吾輩の忠言を入れて貼り札の文字を改めた褒め置くぞ（通人）▲魚遊痴史さん情歌を休まず出し下さい（三巴）▲此の頃は長谷川町の料理屋の人氣の惡いのは御話しにならないよ此れも餘り亭主が出來張り過ぎるからである（素見生）▲此の頃は何に商賣に限らず不景氣だと云ふてコボして居るが獨り淫賣は繁昌なものだ（切符切り）▲太平町の八重咲と云ふ料理屋で二階を作つて居るが其骨組みが細いから危險の樣に思はれる大丈夫かしら（杞憂生）▲大丈夫さ其の道の人が考へて作つてるのだもの何に君、杞憂生君の十人や二十人登つて跳ねたつて躍つたつて心配はない（給仕）▲昨十五日朝南大門の朝市場の所で紺靑の縁に細い白い筋を取つた絹張の洋傘を翳した十八九の娘さんが小さい包みを抱へて緊の行燈袴を穿いて白木の兩刳の下駄を履いて本町方面に向つて行くのを見掛けた其の容子の美いこと僕は何故急いで結婚したのだらうと熟々考へました（花子）▲花子と號する人の面相か分明らぬので困る確かに色情狂者だ、美を美と見ることは可、然れども美人を見て自己の婦の之れに及ばざるに聯想するに至つては正しく色情狂者だ、其美しいを見たる娘さんより、より更に美しいのを見たら乾度飛び付くだらう、アア政府の御苦勞の總わぬ理由だ（小僧）▲卷良朝月、八島の製造元たる廣江商會で大運動會を南大門側から南山に至る所の南山の廣場で催した韓人計りの百五六十名居た鮮の樂隊を先登に堂々として會員何れも櫻の記章を胸に手に朝月、八島の名を染め拔きたる

紙の小旗を捧げ持つて嬉々として南大門通りを會場に練り込んだ盛大なるものであつたよ（韓童）▲昨日大漢門前で副統監を見たが顏の色がまるで赤銅の樣だつた健脚でれ目出度い（安心生）▲本町通りの樣な狹い所を大きな馬車を走らせることは危險だ少し取締つて頂きたい僕等でさへ大手を振つては歩けないのだ、況んや道路の修築費をも負擔することのない韓國側のガタ馬車なんぞに幅を利かさせることがあるものか其通行を禁止すべしである（居留民）▲本町通りに小供を付き添ひ人なくして遊戯さして置くのは危險です親達は注意せられんことを希望する（同上）▲貴紙の平民文庫には西小門通り長谷川町太平町邊の材料が多い大韓日報子には本町邊のが多い場所々々のもんだナア（觀測所長）▲夏の月十三七つ野に遊ぶと云ふを私は斯う云ふ風に盜みました、夏の月今年も十三七つ哉、と倂し考へると夏の月でも春の月でも冬でも秋でも題が動く盜んだものは盜んだものだ、滿足のもの〳〵出來樣筈がない（句狂）▲試みに紅合ませつつくづくし（ひら）

●天氣豫報（自十五日午後六時至十六日午後六時）

南の風曇

| 十四日 | （華氏） |
|---|---|
| 最高温度 | 六七、六 |
| 最低温度 | 五六、五 |

各種洗濯石鹸專門製造販賣

用途 陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、諸工業用

京城旭町二丁目 (電話九七三番)

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

雇われたし 家族少なき家を望む十九女 (氏名在社)

年廿五体强壯商業學校卒業記帳簿精通會社商店へ雇はれたし確實保證人あり給料多額を望まず 氏名在社(二四〇)

長崎縣人佐藤コノ 上記の人住所御存知の方は乍御手數京城旭町一丁目池田質店迄御報を乞(二四五)

女中入用年齢問はず清潔好きの者身元保證人を要す 南山町一の四七 月報社篠塚

●雇入 十五歳以上二十歳以下丁稚至急入用 龍山元町三 日韓組

●教授 禮法茶道活花琴教授す 旭町二の七〇 九目幸琴(二五二)

小僧入用 十五六歳にて身体强健なる者希望者は本欄係へ申込まるべし

北山正敏氏に告ぐ御成町十三村上嘉四郎文店へ自筆履歴書提出あれ (係)

物件部

貸家 若草町一温突一間疊敷二間日本流二三五〇 押込二外に炊事場玄關井戸付家賃 若草町一の一二九矢島(二四一)

貸家 若草町一温突二間疊敷二間日本流二三五〇 押込付外に炊事場玄關井戸付家賃 若草町一の一二九矢嶋(二四三)

貸家 若草町一温突三間半疊敷一間炊事場押込付家賃一三五〇 若草町一の一二九矢島(二四三)

求貸家 西大門外西小門外方面なる四五十間の韓人家屋を格安にて貸受けたし 氏名在社(二四七)

●求貸二階 南大門より本町三丁目迄の所にて觀望のよき二階二間(床、押入付)格安にて借受たし 姓名在社(二五一)

●讓渡 古寫眞器附屬品共安價にて讓渡したし 氏名在社(二五三)

醬油釀造場 釀造道具一切付格安に貸たし 社内福嶋

ヴァイオリン講習 樂器を備へ懇切に教授す 毎週月水金午前十時より 永樂町三番樂講習會(二五八)

中古英國製コースター付自轉車至急讓受けたし 姓名在社(二五七)

廣告

東洋總代理店

賓用石鹸 アイボリー

藤原京城支店 電話 壹八九壹〇四番

辯護士 岩田仙宗

明治町二丁目七十五番戸 電話三五四番

待合 春日

京城本町一丁目… 電話九〇番

待合 かしく

京城旭町二丁目 電話二二九番

●●夏物新着●●

嶄新流行御爲向必適品

色合ひ新鮮御希望の品

御買求めは一日も早き方御得策なり舊に倍して御愛顧御引立願上候

太物洋反 蚊帳蒲團

御なじみの郵便局前

あ 秋山商店

電話九百五番

●●夏物新荷着●●

元祖 消毒殺菌 牛乳 平山牧場

京城大和町壹丁目 電話一三三

謝罪廣告

自分儀從來當地に於て酒類營業罷在候所當時兵庫縣灘魚崎山邑太左衛門氏釀造の淸酒櫻正宗の名聲益々發揚せる折柄或る奸商よりの勸めに任せ該櫻正宗の商標を利用し僞造罎詰を販賣致居り候所今般端なくも貴店に於て御發見に相成り既に其筋へ商標侵害の告訴を提起可相成の處後來斯る不正行爲を爲さざる事を誓ひ特別の御斗らひを以て御濟まし被下候段幾重にも其寛大なる御處置に對し衷心感謝の至に堪へす茲に以紙上謝罪廣告仕り候也

明治四十二年五月十三日

京城明治町二丁目 西山品藏

京城南山町四丁目 櫻正宗山邑支店御中

土管瓦煉瓦

土管 陶榮商店の販賣する土管は摸範的工場に於て最新米國式機械を以てし知名技師の注意周到なる監督の許に精製せられたる最良品なり

瓦 陶榮商店の販賣する瓦は同工場最新米國式機械製品にして酷寒耐久には重き注意を加へられたる最良品なり

煉瓦 陶榮商店の販賣する煉瓦は同工場最新米國式機械精製品にして他に卓越せるは當販賣元の最も誇こする良品なり

右特約一手販賣仕候間多少に不拘御用命奉願候

陶磁器卸小賣 官製煙草元賣捌 土管瓦煉瓦販賣元

肥 京城本町二丁目 陶榮商店 (電話百十三番)

明治廿年七月創立

東京火災 海上運送保險株式會社

資本金一千萬圓

京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

三一館

熊心單志多年爲斯道難於徹底與旨恍然似有得者匪堅推臆斷嗷嗷茫洋辯愈溷腸案面輕蔑也

京城本町五丁目

易斷觀相 數授 通信判斷一件 圓 時別二圓

西洋料理

京城壽町二丁目

にしき支店

電話七百二十九番

出前仕候

十年の血の道 三週間に全治す

子宮病 ひきつけ、しきうびやうにて下腹脹り腹より胸先へ差込正氣を失ひ又は寸白白血赤血帶下を流し顏色蒼白き人

血の道(ヒステリー)症にて氣塞ぎ癇高ぶり夜眠られず。些の事を氣にかけ、こんこ薄く、息切れし動氣强き人

逆上頭痛 のぼせ、つ、うめまい目暈を起し耳なりひへ肩首筋こり、腰足冷

子宮病血之道藥 CHUJOTO PREPARED BY TSUMURA

中將湯

月經不順 つきやくふじゆん又は滯り、年頃になりて月經なく又腹に塊出來、血ぶとり、月經前後に下腹痛み其外月經不順より起る諸症

產前 何となく常ならざる人或は流產難產等の癖ある人は持藥として服用し置けば、月滿て安產す

產後 古血の滯り或は日立惡しく、顏手足の水腫又はしびれ其他凡て子宮病血の道より起る諸病にて種々の藥を用ひて其効なく御困りの人は…中將湯を試よ…

定價 五週間分 壹圓五拾錢 三週間分 壹圓六拾錢 二週間分 壹圓拾錢

一週間分 六拾錢 四日分 卅五錢 一日分 拾錢

●●中將湯は各藥店にあり無くば本舖へ本舖へ注文の御方は病人容體詳く申込

本店東京日本橋區通四町目 支店大阪大寶寺町堺筋南入

本舖 東京 大阪 津村順天堂 本店 支店

▲清潔な下宿▼

客室の淸潔ご調理の美味ご御扱の懇切こを特色こして下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戸橫小路 (元花屋跡)

▲懇切な下宿▼

かめ屋

特約販賣 自製

大 合 薰

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大上商店

(電話二一五一番)

和洋酒、罐詰、精酢、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣

尙御望に依り商品切手調進仕候

營業科目

活版印刷 石版印刷 木版彫刻 コロタイプ版 寫眞版 諸帳簿 製本裝釘

本社 京城明治町三丁目 電話(三二三番)

東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋(三九六二番)

日韓印刷株式會社

詳細なる營業品目錄及び寸法用紙御報次第御送呈す

流行の變形靴

甲革材料は柔軟にして丈夫なるクローム製Aボックスカーフ

金四円八十錢 ●代金引換小包に限り郵送にて眞直に節を引き御足の寸法を紙形に書き其の周圍を御注文の節は御足の寸形を取り御送りの事 又は御常用の日本足袋文數御通知の事

東京市芝區愛宕下町 電話新橋三四〇二番 振替貯金口座四二七六番

龜田靴商店

株式會社 第一銀行韓國總支店

電話番號

第一一一番 長 國庫部、發行部、營業課、當直用

第三三一番 國庫部、發行部、營業課用

第三三二番 支配人、調査部、文書課用

第六一一番 用度係、分析所用

第三三三番 臨時建築部用

本店 東京市日本橋區兜町

內地支店 大阪、神戶、名古屋、四日市、下關、橫濱、東京新大阪町

內地出張所 京都、伏見、兵庫

韓國支店 仁川、木浦、群山、平壤

韓國出張所 釜山、鎭南浦、大邱、開城、元山、馬山、城津、咸興、鏡城

淸國出張所 安東縣

右の外内外各地重要なる場所には爲替取引先あり營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

京城第一の娛樂場

廿錢均一 にして 每夜無休

終日の勞を慰せんと欲するには須らく弊座に來り求められよ必ずや興多からん

午後六時迄に御越の御方に限り十五錢雨天は半額

電話千百三十七番

京城座

各衛御用

新疊及補修

…

竹中房太郎

電話六七の壹

京城曙町 (電話二一八七番)

宮內府御用 統監府御用

敷物 表具

金銀屏風

額面 襖壹式

壁張 天井張

石川表具店

銀行一般業務精々敏捷便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 八拾萬圓

株式會社 十八銀行 京城支店

京城南大門通 (電話四二〇)

本店 長崎市濱町

支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州 大阪、熊本、佐世保、厳原、五島、壹岐

韓國 日本

貯蓄預金

一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日步壹錢四厘)

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

長崎貯蓄銀行代理店

十八銀行京城支店

特定御用

牛乳

荒井牧場

電話一〇五六番

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 郡回漕店

電話三九番

釜山長崎門司神戶行 山東丸 六月 六日午後三時出帆

●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 五月二十七日正午出帆

●大連、大沽、牛莊行 山城丸 五月二十五日前五時出帆

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 六月 十七日正午出帆

●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 五月二十六日午後

御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送り可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 一枚金二錢▲一ヶ月前金四十錢…

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回…

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬太

發行所 京城新報社 京城西小門通 電話六六三番